

# 西園寺

わらわんご



## みきこ

### プロフィール

●1958 福島市生まれ ●1981 東北大学理学部生物学科卒 ●製薬会社研究員、福島県立平商業高校など3校で理科を教える  
●2000 武蔵野市に転居 ●2002 ごみ減量の市民団体に参加 ●2004 東京農工大学大学院修士課程修了 ●2006 武蔵野市第四期長期計画調整計画市民委員  
●2011 武蔵野市議会議員に初当選 建設委員会副委員長、決算特別委員会副委員長、広報委員会、農業委員会、都市計画審議会委員など ●2015 2期目当選 厚生委員長、議会運営委員会、国保運営協議会、土地開発公社評議委員、民生委員推薦会など歴任 ●福島原発刑事訴訟支援団 NPO むさしの市民エネルギーの支援 ●境南町在住 ●家族 / 夫 ●趣味 / ハンドベル・合唱

<http://saionji.seikatsusha.me/>



<https://www.facebook.com/mikiko.saionji>

○表面から見えない「大事なこと」に光を当てていきます。武蔵野・生活者ネットワーク 西園寺みきこの活動を紹介します。

**武** 蔵野市に貧困の子どもなんているの？」そんなご質問を受けたのは4年前。財政力に恵まれている武蔵野市では、冒頭の方の「？」もわかります。しかし、この4年で「子どもの貧困」の深刻さと「経済格差の拡大」という現実への理解は進んできました。以前のような「絶対的貧困」ではなく「相対的貧困（＝周囲にとって当たり前のことができない）」こそが、約16%の子どもたちが置かれている現実です。その子どもたちが「どうせがんばってもムリ…」と希望を捨てずに済むよう、社会全体での支えが必要なのです。

**先** 月には父親による虐待死事件が大きな問題となりました。被害児童がSOSを出していたのに救えなかったことは、痛恨の極みです。子どもは生まれる環境を選べないのです。外からは見えにくい子どもの困難に手を差し伸べるのも社会全体の義務です。

**L**GBT（性的マイノリティ）の方への支援は、活動の大きなテーマの一つです。これは「そんな人、私の周りにはいないよ？」と「見えない化」されてきた課題でした。市の無作為抽出アンケート等を見ると、市民の約半数が「男性であれ女性であれ、LGBTであれ、

それを理由としたいじめや不利益がない社会を目指すべき」と答えています。特に30代の女性では8割に達することもわかっています。**表**面から見にくいこれらの課題に対し、少しずつ前進させてきました。やるべきことはまだまだたくさんあります。将来に向け、未来に生きる子や孫たちの為にも、これらの課題に引き続き取り組んでいきます。

**武** 蔵野市民となって今年で20年です。「ごみと環境」「市民参加・参画」の活動を通じ、たくさんの方と出会いました。その中で生活者ネットワークとの縁が続き、議席をいただき8年が経ちました。（思い返せば、初当選は3.11原発事故で混乱しているさなかでした）

**子** 育て世代の方も、高齢者の方も、「孤立させない」「ひとりにしない」支え合えるまち。古くからお住まいの方も、転入されたばかりの方も、ともにまちづくりにかかわれるまち。多様な市民の声が反映される市民自治のまち。そんな武蔵野のまちづくりを、皆さまと一緒に進めてまいります。

西園寺  
みきこ  
さんを

応援  
します。

金子あい 俳優・緑町在住

未来の世代に責任を持ちたいと活動する、西園寺さんは私がかつとも信頼する人です。

竹村英明 脱原発政治連盟「緑茶会」代表

山田和夫 要町あさやけ子ども食堂店主

三浦まり 上智大学教授

三木由希子 NPO 情報公開クリアリングハウス

石毛えい子 市民政策調査会顧問 / 元衆議院議員

中川李枝子 児童文学作家

原ミナ汰 共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表

近藤恵津子 NPO コミュニティスクール・まちデザイン理事長

沖藤典子 ノンフィクション作家



松下玲子

武蔵野市長

邑上守正

前武蔵野市長

古林わか子

元武蔵野市議会議員

土谷雅美

生活クラブ生活協同組合理事長

### ○まちの応援団

私たちが応援しています。

- |       |       |
|-------|-------|
| 秋山美智子 | 佃昭子   |
| 天野日佐恵 | 直志浩仁  |
| 五十嵐栄子 | 西本洋美  |
| 井口雅枝  | 野崎斐子  |
| 岩城末子  | 畑中良夫  |
| 大島登志子 | 原田克子  |
| 小野文子  | 古谷由美子 |
| 小野塚洋子 | 星伸子   |
| 鎌内啓子  | 前田美和子 |
| 河田鐵雄  | 山田加代子 |
| 清本和子  | 山田清   |
| 小出律子  | 南泉    |
| 古林和佳子 | 森田淳子  |
| 齋藤枝里子 | 吉田由美子 |
| 新川俊子  | 渡部直子  |

# ひとりにしない、子育て・介護。 市民の声が反映されるまち、武蔵野を!

生活者ネットワークとは?

生活者ネットワークは、市民の政治参加を支えるための仕組みとして市民自身が作り上げた地域政党（ローカルパーティー）です。現在都内33の自治体で活動し、1人の都議会議員と46人の市・区議会議員を議会に送り出しています。

武蔵野・生活者ネットワークは、1995年以来3人の市議会議員を市議会へ送っています。武蔵野を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために活動しています。

## 西園寺の提案

### ■ 大事なことは市民が決める! 自治基本条例をつくります!

計画策定の段階から市民参加を進め、無作為抽出市民ワークショップの声を活かします。コミュニティセンターを拠点としたコミュニティづくりを、多世代の皆さまと共に検討し、自分たちのまちは自分たちでつくる、市民自治のまち武蔵野を目指します。



▲2019 武蔵境駅南口にて遊説



▲2018 市長室にて



▲2015 議会おしゃべりカフェ



▲2016 太陽光発電所視察（山梨県北杜市）



▲2018 ソーラーシェアリング視察（千葉県匝瑳市）



▲2018 生ごみ堆肥で元気野菜 収穫祭にて

### ■ 多様性を認め合う。共生社会をつくる!

性や障がいの有無、国籍によらず、あらゆる人々の尊厳を守ります。その人らしく生き生きと暮らせるまち、いじめや不利益を被らないまちをつくります。高齢になっても、障がいを持つようになって、ひとり暮らしになっても、安心して住み続けられる「地域包括ケア」を進め、共生社会をつくります。



▲2018 レインボープライド（渋谷区）にて



▲2018 男女共同参画フォーラム



▲2017 しんぐるまざあず・ふぉーらむ、赤石千衣子さんと

### ■ 憲法を活かし、平和・人権を地域から守る!

すべての子どもの学びと育ちを保障し、どんな環境に生まれても、その子の最善の利益を優先する施策を求めていきます。地域から国際交流を深め、「他国を傷つけず尊敬される」国づくりに貢献します。憲法は権力を縛る道具です。国民を縛るものではありません。常に憲法を学びなおし、活かしていきます。



▲2017 テンミリオンハウス「ふらっときたまち」オープン



▲2017 とらいふ武蔵野内覧会



▲2015 ピースパレードにて

### ■ 暮らしの中で備える防災! いのちをつなぐ!

ふだんの生活の中で備える「備災」。高齢者も乳幼児も障がいのある方も病気をお持ちの方も、発災直後の混乱をやり過ぎて命を守る知恵をひろめます。国内の被災経験を武蔵野で活かします。避難所運営に災害弱者の目線を盛り込みます。



▲2019 「暮らしの中の防災」あんどりずさん、松上市長と



▲2019 境南小どんと焼きにて



▲2019 市内遊説



▲2019 年統一地方選挙スローガン



地域の課題に取り組んでいきます!



## 生活者ネット3つのルール

### 1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

### 2 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

### 3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。